

高津川 だより



特集／身体的拘束最小化チーム
特集／高校生一日看護体験

令和6年度「災害対応訓練」
季節ごとの行事・イベント
外来担当一覧

特集

身体的拘束 最小化チーム の活動について



チームによる病棟ラウンドの様子

身体拘束
身体拘束とは、「本人の行動の自由を制限すること」です。

病院における身体拘束とは
医療を提供するにあたり、抑制帯などを使用して、一時的に身体を拘束し、その運動を抑制する行動の制限をいいます。
当院では、患者さん本人や他の患者さん

などの生命や身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、原則として身体拘束をしないケアを目指しています。
当院には身体的拘束最小化チームがあり、医師や認知症看護認定看護師だけでなく薬剤師など多職種により構成されています。チーム活動の一つとして、身体拘束を実施せざるを得ない場合に患者さんの尊厳と主体性を尊重し、いかに拘束を解除するか、または代替案はないか、治療経過や患者さんの状態を確認し、毎日検討しています。
さらにチーム活動により、職員ひとりひとりが、身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持つことで、身体拘束を必要としないケアの実現を目指しています。

認知症看護認定看護師
田原 さとみ
(たばら・さとみ)



身体的拘束最小化チーム

当院には身体的拘束最小化チームがあり、医師や認知症看護認定看護師だけでなく薬剤師など多職種により構成されています。チーム活動の一つとして、身体拘束を実施せざるを得ない場合に患者さんの尊厳と主体性を尊重し、いかに拘束を解除するか、または代替案はないか、治療経過や患者さんの状態を確認し、毎日検討しています。
さらにチーム活動により、職員ひとりひとりが、身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持つことで、身体拘束を必要としないケアの実現を目指しています。

身体拘束を必要としないための

取り組み～身体拘束ゼロへの手引きより～

①患者さん主体の行動、尊厳を尊重します。

②言葉や応対などで、患者さんの精神的な自由を妨げないよう努めます。

③患者さんの思いを汲み取り、患者さんの意向に沿ったケアを提供し、多職種協働で丁寧な対応に努めます。

④身体拘束を必要とする要因を探り、その要因の改善に努めます。

⑤5つの基本的ケアを十分行い、生活リズムを整え、患者さんに合ったケアを徹底します。

～5つの基本的ケア～

- ①起きる
- ②食べる
- ③排泄する
- ④清潔にする
- ⑤活動する（アクティビティ）

4階西病棟（整形外科）での取り組み

看護師が対象患者さんのいる病室を訪問し、音楽体操やレクリエーション（色塗り、点結び、紐分け、風船飛ばし、DVD鑑賞、音楽鑑賞、読書、散歩など）を実施しています。

音楽体操では、まず患者さんの状態に合わせて姿勢を整えます（ベッド上・端座位・車椅子・立位など）。感染対策（マスク・手指消毒など）を行いながら、患者さん同士の距離を保ち、看護師が病室の中央に立ちます。患者さんとのコミュニケーションを行います。体操終了後は拍手をし、看護師から患者さんへ参加のお礼を伝え、「で



音楽体操の様子



塗り絵の様子



DVD鑑賞の様子

きている」ことを一緒に喜び合います。

音楽体操の効果は、身体拘束解除時間の確保、身体機能や認知機能の維持や低下予防、同室者や看護師とのコミュニケーションの機会の増加、快刺激による意欲の低下を予防し、安心感につなげることです。

また、レクリエーションの効果は、疾患や病状により、ベッド上での生活を余儀なくされている患者さんや他の患者さんとの間の確保に繋がります。

身体拘束廃止・予防をきっかけに「より良いケア」の実現

身体的拘束最小化チームの活動により、病院全体の質の向上や、入院生活環境の改

交流ができない場合など、患者さんの心身や入院生活の活性化を目的として取り組んでいます。これらの活動が、身体拘束の時のみの確保に繋がります。

善になると考えています。身体拘束を必要としない取り組みにより、急性期病院でもできる、身体拘束に頼らないより良いケアの実現に取り組んでいきたいと思います。身体的拘束最小化チームの取り組みについて、患者さんやご家族のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



特集

高校生 看護 体験 日

令和6年8月1日(木)・6日(火)に
看護に興味のある高校生を対象に
看護体験を実施しました。
益田圏域内の4校から計21名の高校生が
参加してくれました。

看護師ユニフォームに着替えて、体験
スタートです。

まずは院内をぐるっと回る病院見学で
す。1階フロアの石州瓦や木目のある主
柱について説明を受けました。また天候
も良く、ヘリポートにも行ってみました。
続いては、手術室の見学です。日常生活
では見ることがない場所ですので、緊
張とワクワクが混ざった様子でしたが、
設備などについて、スタッフの説明を熱
心に聞いていました。



その後は実際に手術台に寝てみたり、
術者用の手術着を着てみたりしました。
手術着を着る際には、清潔にした術者の
手が汚れないよう正しく着用しなけれ
ばいけません。説明を受けながら、お互

いに手術着を着てみました。

また、手術台には保温機能があります。
術者は重ね着するため暑く感じます。その
ため、部屋の温度は低く設定されています。
が、患者さんが寒くならないよう暖かく
してあります。ドラマなどでは描かれてい
るアルを少し体験していただきました。そ
の他、手術で使う器具を触ってみたり、血圧
測定をしたりしました。

次に各病棟に分かれて看護師の業務見
学や看護体験をしました。

洗髪や足浴、手浴では、患者さんに湯
加減を聞いたり、お湯がかからないよう
に注意したりしながら一生懸命取り組ん
でいました。患者さんから「ありがとうございます」と感謝の言葉をい
ただきました。「気持ちよかったです」と嬉しい言葉をい
ただきました。

また、車椅子介助と合わせて一緒に院
内を散歩した患者さんは「今日はと
ても良い日になった」と嬉しい言葉をい
ただきました。

参加した生徒さんの感想



- 看護師さんは足浴などをする際には患者さんとたくさんコミュニケーションをとっており、そうすることで患者さんの緊張がほぐれ、安心してもらえるのだと感じました。
- 看護師の仕事について、調べたりネットで見たりするには限界があつたけど、実際に手術室に入つたり患者さんと接することで今までよりもさらに看護師について知ることができました。
- 看護師になりたいという気持ちが強くなり、勉強のモチベーションになりました。
- 看護師は患者さんの近くで会話をしたり看護をする、患者さんにとつてとても大切で安心できる大きな存在だと感じました。
- 子どもから高齢の方まで、とても幅広い年齢の方に対し一人一人に寄り添い、細かいところまで配慮して患者さんと関わっている看護師を見て、改めて素晴らしい仕事だなと感じました。
- バイタル測定や足浴もさせていただき、貴重な体験をすることができました。足浴では、患者さんとコミュニケーションを取ることができたし、喜んでいただけたのでとても嬉しかったです。
- 祖母が入院していた時期があり、その時に「今日のシャンプーは気持ちよかったです」と言っていました。私も患者さんにそう言つてもらえるようになりたいと思いました。
- 病院のヘリポートや手術室など普段行けない場所に行くことができて楽しかったです。



○ 実際に看護師がどのような場所で働き、どんなことをするのか知ることができます。

○ 今回の体験で看護への理解が深まり、早く看護師として働きたいという思いが強くなりました。

○ 病棟や手術室のちょっととした心遣いが印象的でした。

○ 足浴などをする際には、ただするだけではなく、コミュニケーションを取り、体調面を考慮したりしながら視野を広く持つことが看護師には必要だと思いました。

担当した看護師の感想

- 患者さんからは「うれしい」と感想を言つていただいた。
- 生徒さんの笑顔を見て、こちらが元気をもらつた。
- 看護師になりたい思いが伝わってきた。
- 患者さんと話をしながらケアをされていました。

「看護師」という仕事をあまり近くで見る機会はないと思いますが、今回の体験を通じて、看護師の仕事内容だけでなく、想いややりがい、大変さなどを感じていただき、進路選択の一助になれば幸いです。

看護体験は毎年開催しておりますので、医療や看護に興味のある方は是非ご参加ください。お待ちしています。

いつの日か、皆さんと一緒に働く日が来ることを楽しみにしています。お疲れさまでした！

○ 患者さんも協力的で朝から楽しみに待つておられて、嬉しそうな顔を見ることができ良かったです。

○ 妊婦体験など産科に関わることを体験していただき、生徒さんからは「妊娠さんの大変さが分かった気がする」「お母さんってすごい」など、命の尊さ、大切さについて実感してもらうことができました。

○ 患者さんも協力的で朝から楽しみに待つておられて、嬉しそうな顔を見ることができ良かったです。

9月14日（土）に災害対応訓練を実施しました。

訓練の目的

災害拠点病院として大規模災害における病院機能の維持と事業継続および多数傷病者の受け入れ時の迅速かつ的確な診療体制の構築。

訓練想定

9月13日15時頃 鹿足郡津和野町付近（弥栄断層）を震源とするマグニチュード7.6強の地震が発生。益田市内で震度6強の揺れを観測し、同地区を中心には建物倒壊や急傾斜地崩壊による人的被害が発生している。

9月14日、一夜明け救出された傷病者が当院へ救急搬送、または自力で来院中。院内に被災を受ける。火災の発生は少ないが建物倒壊や急傾斜地崩壊により人の被災が発生している。

今回の訓練では、良かった点や前回の反省を基に改善できた点がいくつありました。

- 患者さんの向きを統一することで安全性を確保した
- ペアを組むことでスムーズに搬送を行えた
- 本部内の情報伝達方法を口頭伝達から紙運用とすることで、情報漏れ、伝えにくさをなくせたなど

また、課題も出てきました。

令和6年度『災害対応訓練』

赤十字は動いている



訓練内容

2階事務室に災害対策本部を設置。入院患者さんおよび職員の安否確認、建物の被災状況を確認。その後、災害レベルを決定し、体制を整えました。

また、診療部門では、1階フロアにトリアージ※エリアと重症度ごとに赤・黄・緑の各エリアを設置し、多数傷病者の受け入れ体制を整えました。

- 特に屋外での活動職員の体調面（熱中症予防など）を考慮した方が良いなど
- 特に屋外での活動職員の体調面（熱中症予防など）を考慮した方が良いなど
- 職員の安否確認が不十分（返信がほとんどない）
- 本部からの指示が伝わっていないことがある（指示を出したつもり）
- ベッドの配置場所などを決めておき、図にしておいた方が良いのではないか
- 体制構築の際に必ず必要な情報（職員の安否情報、院内の医薬品量や食糧など）はすぐに確認、記載できるように何かしら形作っておいた方が良いのではないか

今後も検証を行い、いつ災害が起きても医療を継続できる体制作りを強化していきたいと思います。

最後に、訓練に参加していただいた石見高等看護学院の学生の皆さん、益田保健所の皆さん、ご協力いただきありがとうございました。

季節ごとの行事・イベント

献血バス

6月24日（月）に島根県赤十字血液センターより献血バスがやってきました。午前中のみの短い間でしたが、一般の方と院職員合わせ約20人が献血に来られました。ご協力いただきありがとうございました。



中学生医療現場 体験セミナー



7月30日（火）にしまね地域医療支援センターが主催の県内の中学生を対象とした中学生医療現場体験セミナーを開催しました。午前中は院内各部署を見学し、午後からは研修医と一緒にシミュレーターを使って、縫合や採血を体験しました。

院内学術発表大会

8月3日（土）に院内学術発表大会を開催しました。研修医から3題、リハビリテーション技術課から1題、薬剤部から1題、看護部から1題の計6題の発表に加え、泌尿器科の伊藤医師のミニレクチャーが行われました。今後も研鑽に努めていきます。



車いすの寄贈

8月23日（金）、東洋羽毛中四国販売（株）様より車いすを1台ご寄贈いただきました。寄贈いただいた車いすは軽量で高機能です。また、後ろ側にはマスク「マスク」がプリントされています。5階東病棟にある同様の車いすが古くなつたため入れ替えをしました。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。



10月27日（日）に島根県総合防災訓練が万葉公園をメイン会場とし、当院を含め益田市内の各会場にて行われました。

当院では、救護班により救護所が設置され、傷病者の受け入れを行いました。訓練（当院会場）には、地元消防団や益田地区地域赤十字奉仕団、石見高等看護学院の皆さんなど100名近くご参加をいただきました。ありがとうございました。

島根県総合防災訓練



新生児蘇生法講習会

9月28日（土）に新生児蘇生法講習会を開催しました。当日は、講師の産婦人科医、小児科医をはじめ産婦人科病棟に勤務するスタッフだけでなく、外来などで勤務するスタッフも参加しました。今後も、知識や技術の向上、維持に努めていきます。

10月29日（火）、院内保育所でハロウィンが行われ、園児たちが院内を歩きました。事務室前では「Trick or Treat！」と元気よく言い、職員からお菓子を貰っていました。



益田赤十字病院 第5回インスタ大会 開催中！

今回のテーマは「週末の過ごし方」です。みなさんの「いいね」の数で順位が決まります。

是非、フォローといいねをお願いします！

益田赤十字病院
Instagram



院内保育所ハロウイン

益田赤十字病院 外来担当一覧

令和6年11月1日現在

科別	診療	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	岡本 栄祐 (総合診療)(初再診)	角 昌樹 (総合診療)(初再診)	桐木 開成 (総合診療)(紹介のみ)	鈴木 真紀 (総合診療)(紹介のみ)	福島 俊太朗 (総合診療)(初再診)	
	午後	—	—	岡本 栄祐 (総合診療)(初再診)	—	—	
	午前	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	竹谷 海 (内分泌・代謝)	金曜日(隔週): 竹谷 海 医師(島根大学内科学第一) 隔週の火曜日: 高橋 勉 医師(島根大学内科学第三) 隔週の木曜日: 鈴木 律朗 医師 (島根大学血液・腫瘍内科学教授)
		馬庭 泰久 (血液・免疫)	高橋/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)	鈴木/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)	
		—	田部 謙 (消化器)	—	田部 謙 (消化器)	田部 佳奈子 (消化器)	
	午後	園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)	天野 和寿 (消化器)	園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)	膠原病リウマチ内科 ※完全予約制 水曜日(第2・4・5): 近藤 正宏 医師 (島根大学地域医療政策センター教授) 毎週火曜日: 津端 由佳里 医師 (島根大学呼吸器・化学療法内科診療教授)
		鈴木 貴之 (感染症)	高野 育子 (膠原病リウマチ内科)	近藤 正宏 (膠原病リウマチ内科)	鈴木 貴之 (感染症)	—	
		—	津端 由佳里 (呼吸器)	—	—	—	
循環器科	午前	川波 由佳	内田 利彦		内田 利彦	黒田 紘章	心カテ日: 月～金曜日 ベースメーカー外来: 第1木曜日(予約) 弁膜症外来: 岡田 大司 医師(島根大学内科学第四) 7/29、8/9、9/30、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17 休診日の対応: 救急車受入・救急紹介のみ
	午前	—	黒田 紘章	手術日のため 休診	川波 由佳	—	
	午後	岡田 大司 (弁膜症外来)	—		ベースメーカー 外来 <small>予約</small>	—	
脳神経内科	初診 再診	松井 龍吉	休 診	松本 源樹 木谷 光博	松井 龍吉	中川 知憲	休診日の対応: 救急車受入・救急紹介のみ
呼吸器外科	午後	休 診	休 診	休 診	休 診	山本 寛齊	島根大学 麻床遺伝・ゲノム医療センター 教授 第2・4金曜日 14:00～
小児科	午前	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	※完全予約制(但し、1ヶ月健診、3ヶ月末満の乳児を除く) 午前、午後ともに初診は紹介患者様のみ
		中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	循環器外来: 偶数月 第4火曜日(予約) 奇数月 第4木曜日(予約)
		佐々木 真優	佐々木 真優	佐々木 真優	佐々木 真優	佐々木 真優	神経発達外来: 滝川 遼 医師 第2木曜日(予約)
		—	循環器外来 <small>予約</small>	—	循環器外来 <small>予約</small>	—	
		—	—	—	神経発達外来 <small>予約</small>	—	
外科	午後	予防接種	予防接種	乳児健診	乳児健診	予防接種	
	初診 紹介	三浦 義夫	黒田 博彦		秋月 光/澤田 将平	服部晋司	手術日: 月・水・金曜日 乳腺外来: 月曜日午前(予約) 緩和ケア外来: 木曜日午後(予約)
		澤田 将平	服部 晋司		三浦 義夫	黒田 博彦	セカンドオピニオン外来: 第1金曜日(予約) (島根大学医学部消化器・総合外科教授)
	再診	—	—		秋月 光	セカンドオピニオン外来	初診紹介 第1・3・5木曜日: 秋月 光 初診紹介 第2・4木曜日: 澤田 将平 休診日の対応: 救急車受入・救急紹介のみ
脳神経外科	午前	乳腺 外来 <small>予約</small> 島根大学医師	—		澤田 将平	—	
	午後	—	—		緩和ケア外来 <small>予約</small> 服部 晋司	—	
整形外科	午前	休 診	休 診		石原 秀行 岡 史朗	休 診	第1・3・5木曜日: 石原 秀行 医師(山口大学 脳神経外科教授) 第2・4木曜日: 岡 史朗 医師(山口大学 脳神経外科) 機能的脳神経外科専門外来: 第3水曜日(完全予約制) 井本 浩哉 医師(山口大学 脳神経外科)
	午後	米井 徹 横川 敬	手術日のため 休診	中村 太紀 米井 徹	手術日のため 休診	横川 敬 中村 太紀	初診は紹介患者様のみ 手術日: 火・木・金(午後)曜日 検査日: 月・水・金曜日 休診日の対応: 救急車受入・救急紹介のみ
皮膚科	午前	金子 栄 上野 彩夏	金子 栄 上野 彩夏	金子 栄 上野 彩夏	金子 栄/上野 彩夏	—	初診は紹介患者様のみ(金曜日は紹介不可) アトピー外来: 火曜日 15時～16時30分(予約)
	午後	—	アトピー外来 <small>予約</small>	金子 栄(再診)	—	—	第1木曜日 上野医師 休診 第3木曜日 金子医師 休診 手術日: 月曜日午後・木曜日午前
泌尿器科	初診 紹介	青木 明彦	佐本 征弘	伊藤 英昭	手術日のため 休診	伊藤 英昭	手術日: 火曜日午後・木曜日午後 CAPD外来: 月曜日 午後
	再診	伊藤 英昭	青木 明彦	佐本 征弘	手術日のため 休診	青木 明彦	休診日の対応: 救急車受入・救急紹介のみ
産婦人科	1診	福島 瑞璃子	片桐 敦子	福島 瑞璃子	山崎 菜々子	片桐 浩	※完全予約制 予約電話受付: 平日の14時～16時
	2診	片桐 浩	片桐 浩	片桐 敦子	福島 瑞璃子	片桐 敦子	
	完全予約制	片桐敦子(再診) 健診 <small>予約</small>	—	手術 マタニティクラス <small>予約</small>	片桐 浩(再診) 健診 <small>予約</small>	手 術	予約午後診療: 14時～15時(月・木)
耳鼻いんこう科	午前	休 診	休 診	休 診	休 診	大学医師	紹介患者様のみ(受付: 8時～11時)
眼科	午前	休 診	大学医師	休 診	—	休 診	※完全予約制 初診は紹介患者様のみ 手術日: 木曜日午後 火曜日午後の診療は第1・3・5週のみ
	午後	休 診	大学医師	高井 保幸	休 診		
放射線科	午前	椋本 英光 放射線治療外来 <small>予約</small>	石倉 ゆか	石倉 ゆか 放射線治療外来 <small>予約</small>	石倉 ゆか 放射線治療外来 <small>予約</small>	応援医師	院外検査: 月～金曜日(予約) アンギオ日: 火・金曜日(午後) 放射線治療外来: 島根大学応援医師(専門医) 予約: 月曜日 第2・4週 9:00～15:00 木曜日 第1・3・5週 13:00～15:00
麻酔科	午前	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	
歯科口腔 外科	初診 紹介	森岡 怜音	森岡 怜音	手術日のため 救急紹介のみ	森岡 怜音	森岡 怜音	初診は紹介患者様のみ 手術日: 水曜日
	再診	森岡 怜音	森岡 怜音	腫瘍外来 <small>予約</small>	森岡 怜音	森岡 怜音	腫瘍外来: 小林 真左子 医師(島根大学医学部歯科口腔外科学) 第1木曜日: 長野 貴浩 医師(島根大学医学部歯科口腔外科学) 第2木曜日: 小林 真左子 医師(島根大学医学部歯科口腔外科学)

お問い合わせ先 / 益田赤十字病院 地域医療連携係 〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103番地1
TEL.0856-22-1480 (代) FAX.0856-22-3314